

## 6. 文献リスト

- 千田 昇 (1979) : 中部九州の新規地殻変動—とくに第四紀火山岩分布地域における活断層について—. 岩手大学教育学部研究年報, **39**, 37-75. (岩手大学教育学部)
- 檀原 徹・岩野 英樹・星住 英夫・渡辺 一徳 (1993) : 若い火山岩のフィッシュョン・トラック年代測定の試み—雲仙普賢岳・眉山の例— (演旨). 日本火山学会講演予稿集, **1993**, **2**, 51-51. (日本火山学会)
- 江頭 康夫・清水 洋・福井 理作・桑原 総一 (1987) : 雲仙地溝における垂直変動. 自然災害科学研究西部地区会報, **4**, 75-78. (文部省科学研究費自然災害総合研究班西部地区部会)
- 後藤 恵之輔・藤田 徹・川内 清明・森 正寿 (1988) : ランドサットTMデータを用いた海岸湧出地下水の遠隔探査. 海洋開発論文集, **4**, 249-254. (土木学会)
- 後藤 恵之輔・柳 浩二・佃 為成 (1999) : 越後平野における衛星データからの地盤温度情報について. 自然災害科学研究西部地区部会報, **23**, 167-169. (文部省重点領域研究自然災害総合研究班西部地区部会)
- HATANAKA Yuki, SHIMAZAKI Kunihiko (1988) : Rupture Process of the 1975 Central Oita, Japan Earthquake. Journal of Physics of the Earth, 36, 1, 1-15. (Seismological Society of Japan/Volcanological Society of Japan/Geodetic Society of Japan/Center for Academic Publications Japan)**
- 本田 美智子・岡村 眞・松岡 裕美・松岡 数充・原口 強・中村 俊夫 (1995) : 九州北西部における音波探査とピストンコアリングによる海底活断層活動履歴の復元. 月刊地球「海底活断層—イメージングと活動履歴—」, **17**, **8**, 506-514. (海洋出版)
- 星住 英夫・宇都 浩三 (2000) : 雲仙火山の形成史. 月刊地球「総特集 雲仙火山科学掘削—計画の目的と意義—」, **22**, **4**, 237-245. (海洋出版)
- HOSHIZUMI Hideo・UTO Kozo・WATANABE Kazunori (1999) : Geology and eruptive history of Unzen volcano, Shimabara Peninsula, Kyushu, SW Japan. Journal of Volcanology and Geothermal Research, 89, 1/4, 81-94. (Elsevier Science B.V.)**
- 星住 英夫・宇都 浩三・松本 哲一・徐 勝 (2002) : 雲仙化学掘削により解明された雲仙火山の火山発達史. 地球惑星科学関連学会 2002 年合同大会予稿集, **2002**, **V054-002**. (地震学会・日本火山学会・地球電磁気・地球惑星圏学会・日本測地学会・日本地球化学会)
- 星住 英夫・宇都 浩三・渡辺 一徳 (1994) : 雲仙火山の **K-Ar** 年代測定—新时期雲仙火山の発達史— (演旨). 日本火山学会講演予稿集, **1994**, **2**, 93-93. (日本火山学会)
- 星住 英夫・宇都 浩三・渡辺 一徳 (1995) 雲仙火山の **K-Ar** 年代測定 (続報)—雲仙火山の発達史— (演旨). 日本火山学会講演予稿集, **1995**, **2**, 99-99 . (日本火山学会)
- Imamura A. (1928) : Report on the changes in the land-level in connection with the**

**Simabara earthquake of 1922. Bulletin Imperial Earthquake Investigation Committee (震災豫防調査會紀要), 10, 2, 63-65.**

- 井村 隆介・江越 美香 (2000) : 島原大変に関する記述中の地割れの成因について (SI-018) (演旨). 地球惑星科学関連学会合同大会予稿集, 2000, SI-018. (地震学会・日本火山学会・地球電磁気・地球惑星圏学会・日本測地学会・日本地球化学会)
- 海上保安庁 (1994) : 5分の1沿岸の海の基本図・海底地形地質調査報告「橘湾」. 沿岸の海の基本図 (5万分の1), 6348号 1-S 1-58. (海上保安庁)
- 海上保安庁 (1996) : 5分の1沿岸の海の基本図・海底地形地質調査報告「島原湾」. 沿岸の海の基本図 (5万分の1), 第6348号 2-S, 1-60. (海上保安庁)
- 金子 史朗 (1973) : 火山と広域応力場. 地理, 18, 9, 95-103. (日本地理学会)
- 片山 信夫 (1974) : 島原大変に関する自然現象の古記録. 九州大学理学部島原火山観測所研究報告, 9, 1-45. (九州大学理学部)
- 活断層研究会(編) (1991) : 「新編」日本の活断層一分布図と資料一, 1-437. (東京大学出版会)
- 小林 哲夫・中田 節也 (1991) : 雲仙火山, 火砕流・岩屑なだれ堆積物の14C年代と発達史 (演旨). 日本火山学会講演予稿集, 1991, 2, 140-140. (日本火山学会)
- 国土地理院 (1982) : 沿岸海域基礎調査報告書 (島原地区). 国土地理院技術資料, D-3-No.38, 1-195. (国土地理院)
- 国土地理院 (1982) : 島原 1:25,000 沿岸海域土地条件図. (国土地理院)
- 国土地理院 (1987) : 肥前小浜 1:25,000 沿岸海域土地条件図. (国土地理院)
- 国土地理院 (1988) : 沿岸海域基礎調査報告書 (肥前小浜地区). 国土地理院技術資料, D-3-No.59, 1-153. (国土地理院)
- 国土地理院 (1991) : 島原半島の地殻変動. 火山噴火予知連絡会会報, 49, 69-72. (気象庁)
- 国土地理院地理調査部雲仙岳調査グループ (1991) : 空中写真判読による雲仙火山の地形分類図について - (第1報) -. 地理調査部研究報告, 1-6. (国土地理院)
- 小室 裕明・志知 龍一・舌間 洋二 (2000) : 雲仙火山地域の重力異常. 島根大学地球資源環境学研究報告・徳岡 隆夫教授退官記念論誌集, 19, 97-100. (島根大学総合理工学部地球資源環境学教室)
- 小杉 正人 (1988) : 珪藻の環境指標種群の認定と古環境復元への応用. 第四紀研究, 27, 1, 1-20. (日本第四紀学会)
- 久保寺 章 (1983) : 島原地震(1922年12月8日)について. 長崎県地学会誌, 38, 8-16. (長崎県地学会)
- 倉沢 一・高橋 清 (1965) : 九州雲仙火山岩の岩石学のおよび化学的性質について - 島原半島火山岩類の性質を含めて -. 地質調査所月報, 16, 258-274. (地質調査所)
- 栗山 都・松本 聡・松島 健・清水 洋 (2001) : 雲仙火山の地震波反射面. 月刊地球, 23, 8, 535-539. (海洋出版)
- 九州活構造研究会(編) (1989) : 九州の活構造, 1-553. (東京大学出版会)
- 町田 洋・新井 房夫 (1992) : 火山灰アトラスー日本列島とその周辺. 1-276. (東海大学出版会)

- 松田 時彦 (1990) : 最大地震規模による日本列島の地震分帯図. 地震研究所彙報, **65**, 289-319. (東京大学地震研究所)
- 松田 時彦・塚崎 朋美・萩谷 まり (2000) : 日本陸域の主な起震断層と地震の表一断層と地震の地方別分布関係一. 活断層研究, **19**, 33-54. (活断層研究会)
- 松本 笹夫 (1979) : 九州における火山活動と陥没構造に関する諸問題. 地質学論集, **16**, 127-139. (日本地質学会)
- 松本 笹夫 (1979) : 本州弧・琉球弧会合部における火山活動. 地球科学, **33**, 192-199. (地学団体研究会)
- 松本 笹夫 (1993) : 別府一島原地溝の発想とその後の発展および課題. 地質学論集, **41**, 175-192. (日本地質学会)
- 松岡 裕美・岡村 眞 (2000) : 中央構造線系海底活断層の分布形態とその特徴. 月刊地球、号外「活断層研究—そのフロンティア—」, **31**, 110-116. (海洋出版)
- 松岡 数充・伊藤 秀三・竹村 恵二・原口 強 (1990) 長崎県唐比低地のボーリング柱状試料. 長崎大学教養部紀要 (自然科学篇), **30**, 2 575-593. (長崎大学教養部)
- 松岡 数充・竹村 恵二 (1993) : 雲仙地溝北縁・千々石断層の過去約6000年間の変位—長崎県唐比低地のボーリング調査結果に基づいて—. 地質学論集, **41**, 43-52. (日本地質学会)
- 松岡 数充・竹村 恵二・原口 強 (1996) : 西九州橋湾北方唐比低地で採取された柱状試料中の 14C 年代と火山灰. 関東平野, **4**, 117-121. (関東平野研究会)
- 宮地 六美・小林 茂・関原 祐一・小野 菊雄・赤木 祥彦 (1987) : “島原大変” に関する徳川時代の古絵地図の地質学的解釈. 九州大学教養部地学研究報告, **25**, 39-52. (九州大学教養部)
- 長岡 信治 (1995) : 雲仙火山北麓における火山麓扇状地の形成. 雲仙岳に火山性土石流を発生させる豪雨の解析と防災システムの整備充実・文部省科学研究費補助金一般研究(B). 研究成果報告書 (平成 5~6 年度) (課題番号 05452379), 21-48. (荒生公雄 : 長崎大学教育学部)
- 長崎県 (1974) : 表層地質図「肥前小浜」土地分類基本調査 5 万分の 1. 1-31. (長崎県)
- 長崎県環境部 (1980) : 雲仙・現生沼の研究. 1-70. (長崎県)
- 中田 高・今泉 俊文(編) (2002) : 活断層詳細デジタルマップ. 1-60. (東京大学出版会)
- 岡口 雅子・大塚 裕之 (1980) : ロノ津層群における凝灰岩層および竜石層中の安山岩のジルコンフィッシュトラック年代. 第四紀研究, **19**, 75-86. (日本第四紀研究会)
- 岡村 眞 (1995) : 中央構造線活断層系のイメージング. 月刊地球, 17, 8, 536~540. (海洋出版)
- 小野 晃司・渡辺 一徳・板谷 徹丸・堀 伸三郎・星住 英夫・林 久雄・緒続 英章 (1992) : 雲仙火山の地質 (予察) と K-Ar 年代 (演旨). 日本火山学会講演予稿集, **1992**, 2, 1-1. (日本火山学会)
- 太田 一也 (1973) : 島原半島における温泉の地質学的研究. 九州大学理学部島原火山温泉研究所研究報告, **8**, 1-33. (九州大学理学部島原火山温泉研究所)

- 太田 一也 (1987) 雲仙火山の地質構造と火山現象. 地団研専報, **33**, 71-85. (地学団体研究会)
- 大塚 裕之 (1966) : 口之津層群の層序および堆積物—口之津層群の地史学的研究—その1. 地質学雑誌, **72**, 371-384. (日本地質学会)
- 大塚 裕之 (1984) : 島原—熊本地溝と口之津層群. アーバンクボタ 特集「九州の火山と基盤構造」, **22**, 16-18. (久保田鉄工株式会社)
- 島雄 隆・高島 勲・渡辺 公一郎・井沢 英二 (1999) : 火山岩類の熱ルミネッセンス年代測定の精度検証—雲仙火山火砕流堆積物のβ線量精密補正年代—. 岩鉱, **94**, 4, 109-119. (岩石鉱物鉱床学会)
- 総理府地震調査研究推進本部地震調査委員会(編) (1999) : 日本の地震活動—被害地震から見た地域別の特徴— (追補版). 1-395. (総理府地震調査研究推進本部地震調査委員会)
- 多田 堯(1984) : 沖縄トラフの拡大と九州地方の地殻変動. 地震 第2輯, **37**, 407-415. (日本地震学会)
- 多田 堯(1985) : 沖縄トラフの拡大と九州地方の地殻変動(2). 地震 第2輯, **38**, 1-12. (日本地震学会)
- 多田 堯 (1992) : 九州中部地方の地殻変動とテクトニクス (演旨). 日本地質学会第99年学術大会講演要旨, **1992**, 53-54. (日本地質学会)
- 多田 堯 (1993) : 九州中部地方の地殻変動とテクトニクス—別府—島原地溝の分裂拡大—. 地質学論集, **41**, 1-12. (日本地質学会)
- 高島 勲・渡辺 公一郎 (1991) : 一万年より若い火山岩の年代測定例としての雲仙火山眉山岩体のTL年代 (演旨). 日本火山学会講演予稿集, **1991**, 2, 32-32. (日本火山学会)
- 高島 勲・渡辺 公一郎 (1992) : TL年代測定による雲仙火山の層序と二次堆積物の時代及び供給源の推定 (演旨). 日本火山学会講演予稿集, **1992**, 2, 2-2. (日本火山学会)
- TAKASHIMA Isao · WATANABE Koichiro (1994) : Thermoluminescence Age Determination of Lava Flows/Domes and Collapsed Materials at Unzen Volcano, SW Japan. Bulletin of the Volcanological Society of Japan, 39, 1, 1-12. (日本火山学会)**
- 佃 栄吉 (1992) : フィリピン海プレート<sup>o</sup>の斜め沈み込みと中部吸収の右ずれせん断帯の形成. 日本地質学会第99年学術大会講演要旨, **99**, 73-74. (日本地質学会)
- 佃 栄吉 (1993) : 中部九州は本当に南北に開いているか? 地質学論集, **41**, 149-161. (日本地質学会)
- 堤 浩之 (1987) : 雲仙火山地域の活断層. 活断層研究, **4**, 55-64. (活断層研究会)
- 雲仙火山人工地震探査グループ・清水 洋 (1997) : 1995年人工地震探査による雲仙火山の地下構造. マグマ探査—現状と展望—論文集, **9**-15. (京都大学防災研究所附火山活動研究センター桜島観測所)
- 吉川 周作 (1976) 大阪層群の火山灰層について. 地質学雑誌, **82**, 497-515. (日本地質学)

- 吉川 周作・井内 美郎 (1991) : 琵琶湖高島沖ボーリングコアの火山灰層序. 地球科学, **45**, **2**(no.233), **81-100**. (地学団体研究会)
- 吉川 周作・井内 美郎 (1993) : 琵琶湖高島沖ボーリング火山灰から見た中期更新世～完新世の噴火活動史. 地球科学, **47**, **2**(no.245), **97-109**. (地学団体研究会)
- 吉川 周作・近藤 洋一・井内 美郎 (1993) : 帯磁率による「肉眼では識別することのできない火山灰」の検出. 地質学雑誌, **99**, **4**, **293-296**. (日本地質学)
- 吉岡 敏和・星住 英夫・宮崎 一博 (1997) : 5 万分の 1 地質図幅「大分」及び同説明書. (地質調査所)
- 渡辺 一徳・星住 英夫・板谷 徹丸 (1991) : 雲仙火山の地質と **K-Ar** 年代 (演旨). 日本火山学会講演予稿集, **1991**, **2**, **31-31**. (日本火山学会)